

# 府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議の主な論点

## ～令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方について～

### 1 趣旨

今日の京都府立高校を取り巻く状況や社会の劇的な変化等に対応するとともに、国の高校教育改革の動向等を踏まえ、魅力ある学校づくりを目指すため、府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議を設置し、検討を行う。

### 2 主な論点

#### 論点① 府立高校としての存在意義・果たすべき社会的役割について

高校教育の目的と人材育成の視点を持ちつつ、中長期的な社会像・地域像を見据えて、各学校の存在意義や各学校に期待されている社会的役割、目指すべき学校像を明確化

#### 論点② 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方、特色化・魅力化について

少子化がさらに進み、中学校卒業予定者数が減少傾向にある中での、府民や地域の期待に応える新しい時代に対応した魅力ある府立高校づくり

高等学校教育の普通科改革に対応した本府の普通科の在り方、地域の産業界を支える視点を持った専門学科の在り方

将来の地域を支える人材を育てるキャリア教育の推進、府内各地域の状況に応じた高等学校教育の在り方

#### 論点③ 時代の変化や生徒のニーズに応じた定時制・通信制の在り方について

就労している生徒が減少し、中学校時代に不登校経験をした生徒、特別な支援や配慮を要する生徒などの多様な入学動機や学習歴等をもつ生徒が増加しているといった時代の変化に対応し、個に応じた学びが可能な柔軟な教育システムをもつ府立高校の在り方